

要 望 書

埼玉県議会自由民主党議員団
医学部新設及び総合病院誘致推進懇話会

拝啓 貴大学のますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。日頃より、本県の県民医療の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、埼玉県では慢性的な医師不足や救急医療、周産期医療など、県内医療体制の整備が大きな課題となっております。このため、最も重要な県内医師不足地域に対しての医師派遣はもとより、県民への高度医療の提供、将来を見据えての医師育成を行っていく必要性から、現在、さいたま市浦和美園地域において、貴大学の医学部附属病院・大学院・研究施設等の整備を鋭意進めているところであります。

当医学部附属病院の整備にあたっては、これまで事業者採択から計画変更等様々な経線がありましたが、現在、2027年開院に向けて計画が順調に進められています。このような中、県内医療体制への協力が重要視される当医学部附属病院には、県施策への協力体制構築のために建設費などの相応の負担を県の財政より支出する予定としております。

そこで、当議員懇話会としては、本県の医療体制の充実・強化に重要な当医学部附属病院の整備に対し、積極的な支援を行って参りました。今後も、当医学部附属病院開設に向けて、尽力して行きたいと考えております。

一方で、埼玉県ではコロナ禍や原材料費の高騰などによる景気低迷からの脱却を図るため、経済再生への対応を最優先課題としており、あらゆる分野において産業の振興と雇用の拡大を進め、埼玉経済の推進の実現に向けて取り組んでいます。

また、埼玉県議会の議員政策条例にて制定した「埼玉県中小企業振興基本条例」では、県と関係機関が協力して中小企業の健全な発展に寄与することを求めて

おり、特に工事発注に当たっては、中小企業への受注機会の増大に努めることとしております。

こうした本県の事情を御斟酌の上、貴大学の医学部附属病院・大学院・研究施設等の関連工事の発注に当たりましては、県内に本店、営業所、建材工場を所有する企業、並びに、県内企業との構成によるJV（建設共同企業体）への発注、下請け工事や附帯工事への県内企業の活用、さらには県産品、調達資機材の県内優先使用におきましてご検討をいただき、総事業費の3割以上の県内調達の目標を持って、受注機会の確保について格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

令和5年3月13日

埼玉県議会自由民主党議員団

医学部新設及び総合病院誘致推進懇話会

会 長 小谷野 五 雄

学校順天堂 理事・順天堂大学医学部教授

浦和美園新病院・学部等設立準備委員会委員長

天 野 篤 様